

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月11日

上場会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション
 コード番号 5277 URL <http://www.spancretecorp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 齊藤 建次
 (氏名) 飯牟礼 聡

TEL 03-5689-6311

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	636	△6.2	16	—	25	—	19	—
23年3月期第1四半期	678	△42.2	△73	—	△68	—	△91	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.58	2.57
23年3月期第1四半期	△11.29	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	8,728	6,766	77.5	877.80
23年3月期	8,614	6,742	78.3	876.29

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,766百万円 23年3月期 6,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,422	△4.2	96	—	96	—	92	—	11.99
通期	3,160	0.1	215	576.3	215	366.6	205	—	26.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	9,320,400 株	23年3月期	9,306,400 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,611,861 株	23年3月期	1,611,861 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	7,695,154 株	23年3月期1Q	8,106,690 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 追加情報	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の影響により生産や輸出が大幅に減少するとともに、自粛ムードの広がり設備投資や個人消費が減少する等、厳しい状況に陥りました。加えて、欧州・米国をはじめとする世界経済の先行き不安や、デフレと急激な円高の進行が企業収益に影響を落とし、雇用情勢・所得環境については改善に至っておらず、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下で当社の第1四半期累計期間の業績は、売上高6億3千6百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益1千6百万円（前年同期7千3百万円の営業損失）、経常利益2千5百万円（前年同期6千8百万円の経常損失）と減収増益となりました。

事業別にみると、主力のスパンクリート事業は、北陸新幹線防音壁等の需要は好調であったものの、景気減速によるマンションを始めとする建設需要減の影響をまともに受け、売上数量が対前年同期比13.2%減少し、売上高は5億7千9百万円（前年同期比4.7%減）と減収となり、営業損失1千2百万円（前年同期1億1千2百万円の営業損失）の赤字計上を余儀なくされました。他方、不動産事業は貸しビル3棟で多少の空室が発生したものの安定収益を計上しており、売上高5千6百万円（前年同期比19.1%減）、営業利益2千9百万円（前年同期比25.7%減）となっております。

四半期純損益につきましては、有価証券の減損処理による評価損4百万円等を計上したことにより、1千9百万円の四半期純利益（前年同期9千1百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ1億1千4百万円増加して87億2千8百万円となりました。

流動資産は、3千4百万円増加しておりますが、これは主として、売掛債権が1億5千2百万円減少したものの、現金及び預金が3千5百万円、たな卸資産が1億4千5百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産につきましては、有形固定資産が8千1百万円増加したこと等により、総額で7千9百万円増加いたしました。

負債につきましては、買掛債務が6千2百万円増加したこと等により流動負債が8千7百万円増加し、預り敷金7百万円の増加等により、固定負債は2百万円増加いたしました。

純資産につきましては、四半期純利益1千9百万円の計上等により2千3百万円増加し、67億6千6百万円となり、この結果、自己資本比率は77.5%（前事業年度末78.3%）になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末比3千5百万円増加して22億5千1百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は8千8百万円（前年同期2億8千8百万円の減少）となりました。

これは主に、たな卸資産の増加1億4千5百万円等による資金の減少があったものの、売上債権の減少1億5千2百万円、仕入債務の増加6千4百万円等による資金の増加が上回ったものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は5千万円（前年同期3千4百万円の増加）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出6千5百万円等の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1百万円（前年同期1億円の減少）となりました。

これは主に、リース債務の返済1百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

国内景気の先行きは予断を許さず原材料価格も高止まりしておりますが、当社は、お客様のニーズにマッチした魅力ある独自製品の積極的な展開を図り、業績の確保に努めてまいります。

なお、現時点では平成23年6月16日公表の第2四半期（累計）及び通期の業績予想は変更いたしておりません。

また、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（2）追加情報

会計基準等の改正に伴う変更

・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,930,419	1,966,305
受取手形	694,552	484,974
売掛金	128,285	157,216
完成工事未収入金	1,586	29,780
有価証券	491,662	491,677
商品及び製品	96,874	245,944
仕掛品	3,194	2,731
原材料及び貯蔵品	58,156	61,688
未成工事支出金	6,800	509
その他	22,284	27,115
流動資産合計	3,433,815	3,467,943
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	971,336	970,609
機械及び装置（純額）	139,346	136,678
土地	3,029,413	3,029,413
その他（純額）	109,406	194,490
有形固定資産合計	4,249,503	4,331,192
無形固定資産		
投資その他の資産	8,458	7,702
投資有価証券	708,709	707,216
その他	214,475	214,935
投資その他の資産合計	923,185	922,151
固定資産合計	5,181,146	5,261,046
資産合計	8,614,962	8,728,989
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,371	57,207
工事未払金	119,944	153,648
短期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	18,205	5,474
賞与引当金	16,500	24,752
工事損失引当金	3,350	2,960
災害損失引当金	24,567	10,290
その他	175,174	219,659
流動負債合計	986,114	1,073,992
固定負債		
その他	886,189	888,461
固定負債合計	886,189	888,461
負債合計	1,872,303	1,962,454

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,295,896	3,295,900
資本剰余金	3,696,666	3,696,670
利益剰余金	△185,549	△165,723
自己株式	△370,567	△370,567
株主資本合計	6,436,446	6,456,279
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,890	△11,847
土地再評価差額金	322,103	322,103
評価・換算差額等合計	306,212	310,255
純資産合計	6,742,659	6,766,535
負債純資産合計	8,614,962	8,728,989

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	678,459	636,347
売上原価	630,491	499,351
売上総利益	47,968	136,995
販売費及び一般管理費	121,102	120,914
営業利益又は営業損失(△)	△73,134	16,081
営業外収益		
受取利息	3,635	3,143
受取配当金	5,332	4,728
投資有価証券売却益	127	—
その他	3,481	4,016
営業外収益合計	12,577	11,887
営業外費用		
支払利息	2,079	1,826
投資事業組合運用損	3,546	674
為替差損	2,585	—
その他	146	342
営業外費用合計	8,358	2,843
経常利益又は経常損失(△)	△68,915	25,125
特別利益		
受取和解金	4,500	—
特別利益合計	4,500	—
特別損失		
投資有価証券評価損	25,715	4,846
固定資産除却損	—	1,641
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,100	—
特別損失合計	36,815	6,488
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△101,230	18,637
法人税等	△9,697	△1,188
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91,533	19,825

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△101,230	18,637
減価償却費	32,782	28,676
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,100	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,458	8,252
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△400	△250
受取利息及び受取配当金	△5,462	△4,894
有価証券利息	△3,505	△2,976
支払利息	2,079	1,826
投資有価証券売却損益 (△は益)	△127	—
為替差損益 (△は益)	2,585	△70
投資有価証券評価損益 (△は益)	25,715	4,846
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,546	674
固定資産除却損	—	1,641
災害損失	—	220
売上債権の増減額 (△は増加)	△261,001	152,453
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,274	△145,848
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△8,917	1,043
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,056	64,866
その他	12,434	641
小計	△284,159	129,738
利息及び配当金の受取額	8,854	7,846
利息の支払額	△2,079	△1,826
法人税等の支払額	△10,756	△7,628
災害損失の支払額	—	△35,790
役員退職慰労金の支払額	—	△4,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	△288,139	88,275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△99,972	△99,973
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	146,247	108,652
有形固定資産の取得による支出	△2,391	△65,633
長期貸付けによる支出	△2,500	△4,320
長期貸付金の回収による収入	1,694	1,550
長期預り金の返還による支出	—	△18
長期預り金の受入による収入	—	7,848
その他	△8,308	959
投資活動によるキャッシュ・フロー	34,768	△50,934
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
リース債務の返済による支出	—	△1,494
その他	△27	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,027	△1,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,585	70
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△355,984	35,923
現金及び現金同等物の期首残高	2,548,104	2,215,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,192,120	2,251,572

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	608,058	70,401	678,459	—	678,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	608,058	70,401	678,459	—	678,459
セグメント利益又は損失 (△)	△112,599	40,155	△72,443	△690	△73,134

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△690千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△690千円であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	579,390	56,957	636,347	—	636,347
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	579,390	56,957	636,347	—	636,347
セグメント利益又は損失 (△)	△12,481	29,845	17,364	△1,282	16,081

(注) 1. 調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	前年同期比 (%)
スパンクリート事業 (千円)	876,449	41.4
不動産事業 (千円)	—	—
合計 (千円)	876,449	41.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引はありません。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
スパンクリート事業	860,869	14.2	1,008,789	△7.0
不動産事業	—	—	—	—
合計	860,869	14.2	1,008,789	△7.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	前年同期比 (%)
スパンクリート事業 (千円)	579,390	△4.7
不動産事業 (千円)	56,957	△19.1
合計 (千円)	636,347	△6.2

- (注) 1. セグメント間の取引はありません。
2. 前第1四半期累計期間及び当第1四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
三菱商事建材株式会社	360,733	53.2	518,452	81.5
大銑産業株式会社	100,767	14.9	—	—

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。